

いま大学では

自動車短大から

脇 俊 隆

本学は、全国の短期大学の中で少数派に属するといつてよい。

短大と言えば、大多数が女子を対象にしている学校と考えるのが、一般的認識である。そうした中で、わずかな女子がいるものの男子を主体とした自動車整備士養成の異色の短大として、世にはばかることなく生きている。(一九九〇年度学校基本調査—工業系短期大学入学者数九、六〇〇人、全短大入学者数二一九、四三九人)

工学の専門と教養教育

「自動車に関する知識・技術・心」の三位一体を建学の精神に掲げ、一九六七年に開学した本学は、今年で二五年目を迎える。そして、卒業者数も一三、〇〇

〇人を数え、社会的役割をそれなりに果たしている。

本学の教育は、機械工学、電気・電子工学、自動車工学、及び電子機械(メカトロ)等の工学専門知識と幅広い視野及び豊かな人間性を育てる教養教育の二本柱で行っている。

そして、教育展開は一、二年通して教養、専門を学び、二年で自動車工学、車体整備、電子機械コースのいずれかを選べば各コースの特色

自動車工学	本学の主要教育で、自動車に関する基本的な技術、知識を学び、自動車業界や製造業で活躍できる技術者の育成。
車体整備	新素材の使用に伴う車体構造の変化と自動車保険の普及による業界ニーズから、それに対応できる技術者の育成。
電子機械	自動車の諸機能に電子機械が多用され、それに対応できる技術者の育成。

扱する。

教育現場では

(1) 教育時間の実態

本学は、二級自動車整備士の受験資格を得るために、認定大学の指定を受けている。

このため、教育時間にかなり厳しい制約(運輸省は、学科四〇〇h、実技六〇〇hを、実時間で保障することを求めている。これを本学の教育計画時間に換算すると、約一、三四〇hに相当する)を受けている。専門教育時間は、これにほとんど充当される。

さらに、資格取得を容易にするために、実技免除の講習を二年後期に実施している。

一方、短大教育の目的の一つに人間教育があり、これにも時間を割いている。

以上のことから、本学は学生、教職員ともに時間にゆとりがなく、大変厳しい教育環境にある(次表参照)。

いま大学では

	一年	二年
最大計画時間	一一〇〇h	一一〇〇h
一般教育時間	一五〇h	六〇h
外国語科目	六〇h	六〇h
保健体育科目	六〇h	
専門教育科目	六九〇h	六三〇h
実技免除講習		二四〇h
合計	九六〇h	九九〇h
余裕時間	二四〇h	二一〇h

卒業要件の教育時間

一コマ 四五分×二h、年間三〇週、週五日計画

(2) 自由度の少ない教育時間

本学は、資格取得（職業教育）を一つの教育の柱としている。したがって、今回の大学審議会答申にある「特色ある教育創り」は、かなり難題である。つまり、文部省の指導「卒業要件の緩和をはかり、教育に特色をもたせる。」と運輸省の指導「技術の進歩に合わせて教育時間の強化をはかる」の調和を求めた教育整備が必要になるからである。

さらにこのことは、本学の特色とは何かと言う点で、教養と専門で大きく意見

が分かれ、現在学内で一大論争になりつつある。

自動車工業科の現状

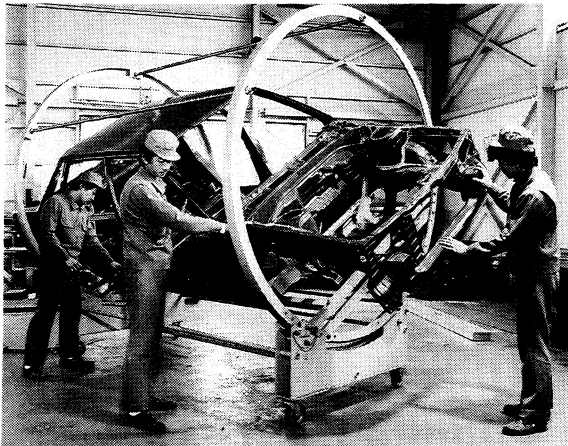
全国の自動車工業科の高等教育機関と学生数は、次のとおりである。

教育機関	施設数	総定員
大学	五	五一〇
短大	八	二五〇〇
専門学校	五八	九二〇〇
職業訓練	四四	一〇一五
その他	六	三五〇
合計	一一一	一三五七五

(一九九〇年現在)

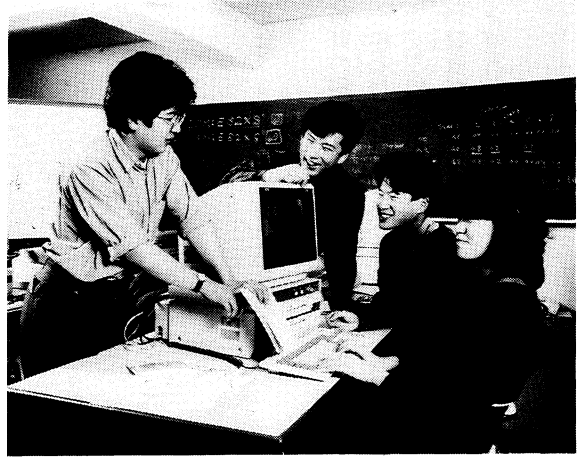
一九九二年から十八歳人口の減少期が始まり、絶対的受験者数の減少と受験率の伸びなやみが重なり、定員割れを起こすと予想されている。そうした中で、熾烈な定員確保競争が始まり、各短大、専修学校は、生き残り

をかけて様々な戦略を打ち出している。発表されている生き残り戦略は、①四年制移行 ②改組転換 ③新学科増設 ④設備投資 ⑤提携 ⑥留学生確保 ⑦市場開拓等である。



■車体整備の実習

いま大学では



■電子機械の演習

のりペアマニユアル・解説書の原稿作成業務などがある。

就職状況は

(1) 就職環境

本学では、国家資格の二級自動車整備士資格を取得できることから、自動車販売会社の整備士として就職していくものが主流になる。しかし、最近の就職間口は、そこだけに留まることなく他業種にも進出している。特に面白いところでは、事故車の査定、示談を行う損害保険会社のアジ

地域的には、中部、関東からの求人が年々増え、地域格差が縮小してきている。

(2) 就職指導と学生意識

就職指導は、学生の就職活動の援助をするための①情報提供②相談しやすい環境などに留意して進めている。そうした指導の中でとりわけ最近感じることは、偏差値至上主義の浸透からか、学歴コンプレックスの強さが目立ち、自信回復の指導も併せて行っている。

(中日本自動車短期大学)